

にぎわい

東北版

Vol.133

～日本海にぎわい・交流海道ネットワーク通信～

目次	● 海洋ゴミ問題について公開シンポジウムが開催される	1
	● 「秋田港海の祭典」、多くの人で賑わう	1
	● 東北における沖合波浪観測網の構築について	1
	● 東北のイベント紹介	1

山形県



山形県酒田市

海洋ゴミ問題について公開シンポジウムが開催される

～みんなでつくる美しい沿岸域～

東北地方整備局港湾空港部



▲海岸に漂着するゴミ

7月19日(日)、酒田市の東北公益文科大学において「海洋ごみ問題の新たな展開に向けて」と題し、日本沿岸域学会主催による公開シンポジウムが開催され約200人が聴講しました。

シンポジウムでは、海洋ごみの問題に携わる研究者や行政、NPO団体関係者をパネリストに招き、先ごろ国会成立した「海岸漂着物処理推進法」の運用の在り方や地域における協働の課題についてパネルディスカッションが行われ、パネリストからは「官民一体となった地域間同士の協力体制が必要不可欠」、「回収だけでなく、流入を抑える重点目標が必要」など意見が述べられました。年間約15万ト[※]とも言われる日本の海岸線に漂着するごみの対策については、これまで大きな問題となっておりました。今回、国と地方自治体の責任を明確化、都道府県は海洋ごみなどの対策に関する「地域計画」を策定し、財政措置により回収・処理、発生抑制について対策を講じることができるようになり、海洋ごみ問題に新たな展開が図られました。

しかし、海洋ごみ問題は広域に及ぶ大きな問題であることから、更なる個々の意識向上と地域同士の連携強化した取り組みが望まれます。

※ 財団法人「環日本海環境協力センター」試算

秋田県



秋田県秋田市

「秋田港海の祭典」、多くの人で賑わう

東北地方整備局 秋田港湾事務所

平成21年7月25日(土)、26日(日)の両日、ポートタワーセリオン及びセリオン広場にて「秋田港海の祭典」が開催されました。会場では、海事功労者表彰、フラダンスやよさこい踊りなどのステージイベント、屋台村、建設業者による水中作業の実演、男鹿海洋高校実習船や海上保安部の巡視船による体験航海などが行われ、多くの人で賑わいました。当事務所でも、ブースの出展と港湾業務艇「あきかぜ」による港内見学、鳴り砂や地震による液状化の仕組み実験(液状化ボトル)では多くの子供たちが興味津々に体験していました。



◀ 多くの人で賑わう会場の様子

▶ 「あきかぜ」による港内見学、液状化の実験





青森県・秋田県・山形県



東北におけるGPS波浪計を活用した 沖合波浪観測網の構築について

東北地方整備局港湾空港部

沖合波浪観測網の構築については、平成18年度より開始され、東北沿岸においては左図のとおり、現在までに太平洋側7基の整備を完了しています。また、平成22年度末までに日本海側の青森県西岸南部沖と秋田県沖、山形県沖の整備を予定しており、今年度、製作に着手し、平成22年度に設置する予定です。

津波が観測された場合は、一般向けにはテレビ等を通じて気象庁から津波情報の一環として、GPS波浪計による沖合津波観測情報が発表されることになり、昨年7月1日より岩手県釜石沖及び宮城県金華山沖が、本年4月1日より青森県八戸沖・岩手県宮古沖・気仙沼広田湾沖の3基のGPS波浪計が追加され、計5基が本格運用中です。

東北における沖合波浪観測網配置計画



平成20年度 太平洋側7基の整備完了



岩手県北部沖

福島県沖

平成22年度

日本海側3基

- ・今年度製作に着手
- ・平成22年度設置予定

東北のイベント紹介

【酒田市】 酒田港クルーズ

酒田ー飛島間就航定期船「ニューとびしま」に乗船し、酒田港外港を巡りながら日本海に沈む夕陽を眺めるサンセットクルーズ。

■開催日：7/11・18・25、8/1・29

■場所：酒田市定期航路事業所前

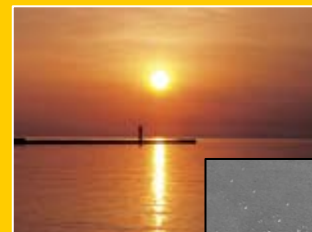
【お問い合わせ先】

酒田市定期航路事業所

TEL：0234-22-3911

http://www.sakata-kankou.gr.jp/tobishima/tobishima_koutsu.html

是非みなさんお出で下さい！



【編集・お問い合わせ】

日本海にぎわい・交流海道ネットワーク事務局
国土交通省 東北地方整備局
港湾空港部 広報・振興担当
TEL: 022-716-0003 FAX: 022-716-0017
E-mail: info-k82ab@pa.thr.mlit.go.jp